

③9 横浜市鶴見一丁目地区における防災公園街区整備事業 及び住宅市街地総合整備事業

受賞機関 独立行政法人都市再生機構

キーワード 公民連携、大規模開発、
防災機能を有した地区公園、歴史の継承

全建賞審査委員会の評価ポイント

防災機能を備えた公園整備、老朽化施設の解体、造成工事や公民連携による地域課題解決への取組。住民の意見を反映し、地区の歴史を尊重した公園整備を実施し、さらに地震災害時の避難地として機能する防災公園の設えに配慮し、地域を代表する公園整備を進めてきた点が評価された。

1. はじめに

当地区は、横浜市の防災計画において広域避難場所に指定されていた。そのため、緑の保全・創出に寄与する防災機能を備えたオープンスペースの確保が求められていた。また、駅前という立地を活かし、駅前にふさわしい土地利用の誘導が求められていた。

独立行政法人都市再生機構（UR）は、公民連携のもと、当地区で防災公園街区整備事業と住宅市街地総合整備事業を一体的に実施した。これにより、既成市街地における大規模な老朽化施設の解体や大規模造成工事など様々な課題を乗り越えた。さらに、防災機能を有した地区公園の整備及び良好な住宅市街地の形成、地域住民の意向を踏まえた公園整備による歴史の継承など、地域の課題解決に資する取組を推進した。



上空から見た鶴見一丁目地区

2. 事業の概要

当地区は、京急本線川崎駅と横浜駅のほぼ中間に位置する「花月総持寺駅」から徒歩1分のところにある、花月園競輪場跡地を中心とした地区である。事業区域面積は約10.5ha（うち都市公園4.3ha、市街地6.2ha）で、地区を横断する地区内幹線道路（幅員12m）の整備、高台となる北西側に地区公園、南側の市街地（主に3つの宅盤で構成される住宅用地）を整備する計画となっていた。

また、地区計画を定めることで、空地や緑地等を確保するとともに、周辺環境に配慮しながら高さ制限の緩和等を行い、良好な市街地環境の形成を目指している。

3. 事業の成果

鶴見花月園公園は、防災性の向上や良好な自然環境の形成等に資する地域の中核となる地区公園として整備し、令和3年11月に開園以降、多くの方々にご利用いただいている。休日には地元子どもたちが多く訪れ、にぎわいを見せている。また、地元自治会や市民団体主催の防災をテーマにしたイベントが開かれており、更なる防災意識の向上が期待される。

市街地部分においては、令和6年3月に開発行為が完了した後、順次、民間開発等が進められている。自然環境や景観に配慮した快適な居住環境を備えた良好な市街地の形成が期待される。



提供：西武造園株式会社

鶴見花月園公園

4. おわりに

本事業の推進には横浜市、共同事業者との密接な連携や地元の方々の協力、加えて賛助会員を中心とした施工者、設計者の協力が必要不可欠であった。この場を借りて、多大なご協力をいただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

賛助会員 佐田建設(株)、西武造園(株)、藤造園建設(株)、(株)URリンケージ、(株)緑景、(株)総合設計研究所